

九三式中間練習機 作り方

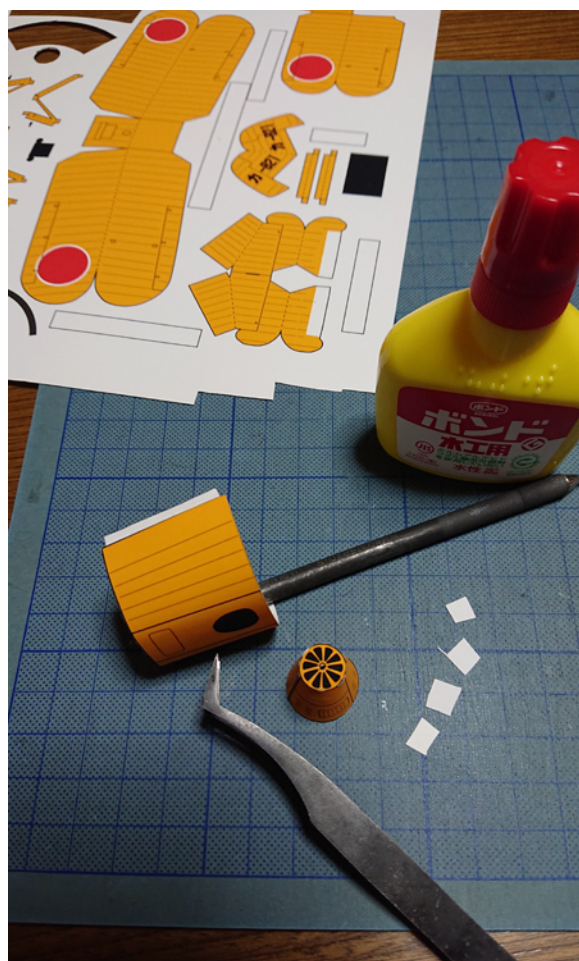
唐古・鍵遺跡南西部にある神社の境内には、第2次世界大戦末期に通称「赤とんぼ」と呼ばれた練習機が隠されていました。

●用意するもの

- ・はさみ
- ・カッター（デザインナイフ）
- ・木工ボンド（またはのり）
- ・ピンセット
- ・つまようじ
- ・カッターマット

●基本的なつくりかた

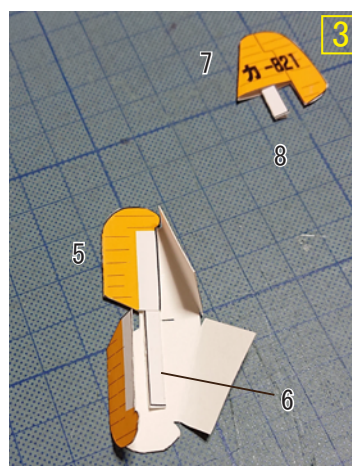
- ・このペーパークラフトは「のりしろ」がありません。余白部分を短冊状に切ったものでのり付けします。
- ・胴などのパーツは丸い鉛筆などで丸め癖をつけてから組み立てます。



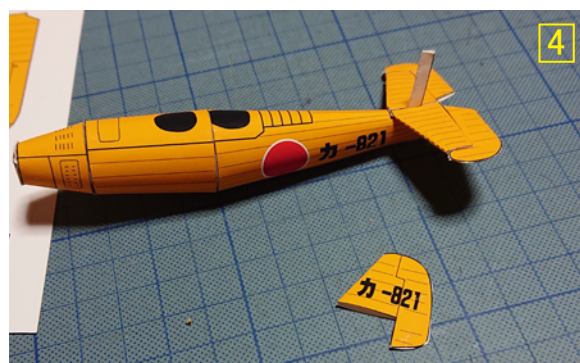
・胴部の組み立て 2～4を筒状に接着して、先端にのり付け用の紙を貼ります。



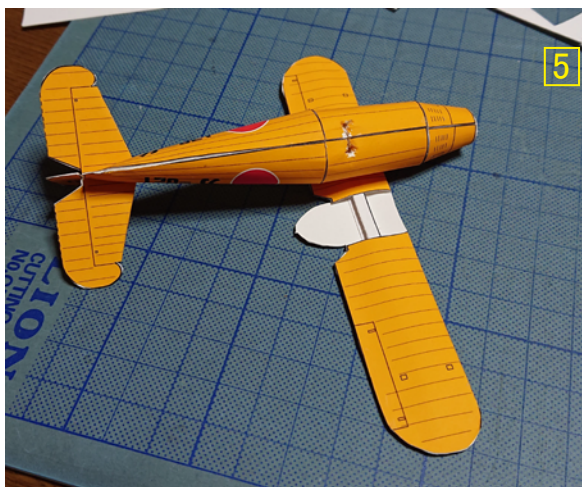
2・3・4を接着してから先端の1を貼ってもよいでしょう。



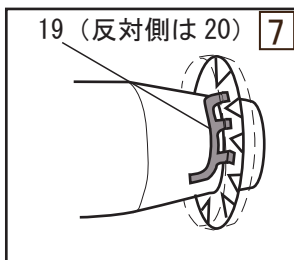
・尾翼の組み立て 5は写真のように折り重ねます。6を2つ折りにして芯とします。7の垂直尾翼にも8を2つ折りにしたものを芯として入れますが、5を胴部に接着してから胴部側に差し込んだ方が効率的です。



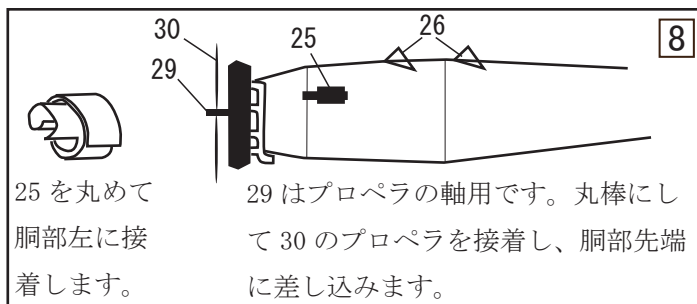
胴部に尾翼を接着し、カッターで8を挿入する穴をあけて差し込むとよいでしょう。9は5と胴部に接着する水平尾翼補強材です。尾翼裏の□印をガイドとして接着してください。



11 を 2 つ折りして 10 の中に補強材として入れます。補強材のあたる胴部に切り込みを入れます。

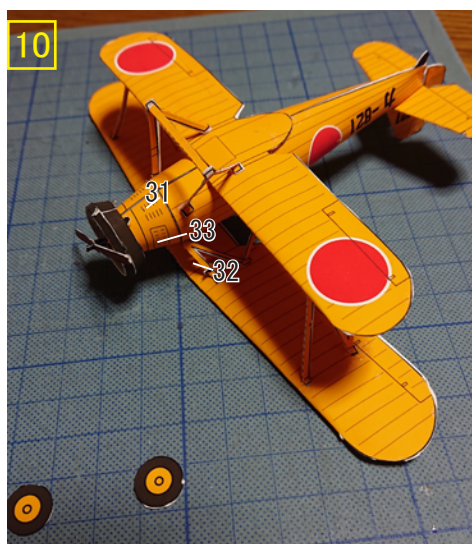


排気管の組み立ては、まず 19・20 の外枠の線で切り抜き、「19・20 の裏」で裏打ちします。これを丁寧に切り抜き、図のように貼り付けます。



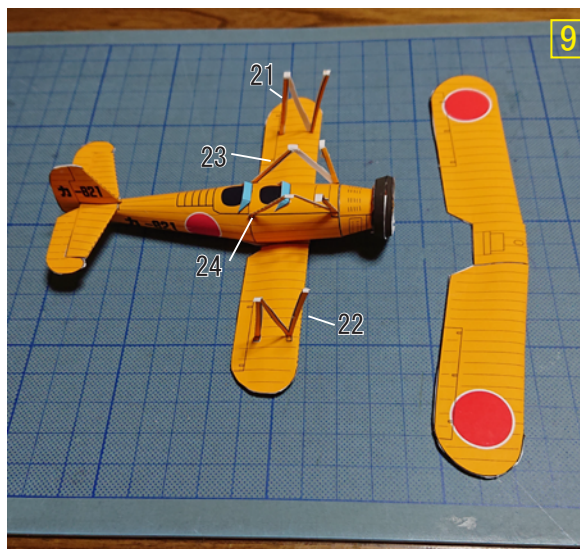
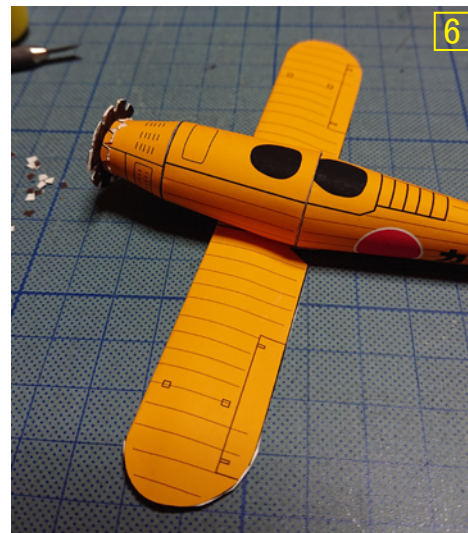
25 を丸めて胴部左に接着します。

29 はプロペラの軸用です。丸棒にして 30 のプロペラを接着し、胴部先端に差し込みます。



主脚をつくります。31・32 を胴部に接着し、横軸の 33 を接着します。タイヤ (34) は 2 枚を裏表で接着してから 31・32 の先端にとりつけます。尾輪 (27・28) も接着します。

エンジン部は、裏 (15) と表 (16) のパーツをドーナツ状に切り抜いて貼り合わせ、表面の白い三角部分を切り落とします。これを胴部先端から 5 mm 程度のところに貼り付けます。カウリング (17・18) はまず 18 をエンジンに巻き付けるように接着してから前部の 17 を接着します。



下翼 (10) と胴部に支柱パーツを接着します。ある程度乾いてから上翼 (12) を接着します。

